

勤務評定表の導入を約束。

6月に行われた平成24年度第2回君津市議会定例会において、7回目となる一般質問を行いました。

この中で職員の人事評価について、「地方公務員法の第40条により任命権者は、職員の執務について定期的に勤務成績の評定を行い、その評定の結果に応じた措置を講じなければならない。」とあるが現状どのような勤務評定を行っているか質問をしました。

現状では勤務評定表がなく、チェック項目を設けて段階等で評価するようなことはしていないことがわかりました。また、年次休暇の取得についてもあらかじめ請求するという決まりはあるものの、「あらかじめ」「何時までか」という決まりがなく、世間一般でいう遅刻であっても年次休暇の時間単位での取得という形で処理されていることがわかりました。

このような状態で「勤務評定をおこなっている」と言えるでしょうか？

- 項目別にきちんとチェックするための勤務評定表を導入すること。
- 例えば、〇時を過ぎたら無断遅刻、無断遅刻〇回で欠勤など、きちんとルールをつくること。
- このようなことをふまえた勤務評定を勤勉手当等で給与に反映すること。

民間企業ならアルバイトであっても当たり前に行われている事だと思います。

真面目に働いている職員が正当に評価されるためにも、勤務評定は管理職の重要な仕事であり、これをやらずして管理職手当の増額をするなど、とても市民の理解を得られない事ではないでしょうか。



庁舎は築35年を経過。

昭和51年に建設された庁舎は、耐震改修、外壁塗装、電気・機械設備の修繕をすると約50億円かかります。新たに建て直した場合も約60億円かかります。

10年以内には大規模な改修または建て直しが必要となる市役所庁舎。皆さんはどうすべきと考えますか？

君津駅に駅ビル建設の話も出ていますが、おそらくただ駅ビルを建設しても木更津駅周辺同様、テナントが入らず苦勞するのではないかと推測されます。

私の提案ですが、庁舎と駅ビルの複合ビルを建設するという選択肢もあるのではないのでしょうか？民間が建設し市が借りる形であれ

ば、仮に10年後に広いスペースが必要なくなったとしても対応がききます。

現在の駅利用者と来庁者が一か所に集まるわけですから、駅としても利用客数が増える事は間違いのないでしょうし、テナントも入りやすい。映画館だって可能だと思います。

高齢化にともない交通弱者が増えていく事を考えれば、交通の中心となる駅と庁舎が一緒になる事は市民にとって大きなプラスになります。交通の起点も駅に集中することが出来ますし、久留里線の君津駅乗り入れも考えられます。

「若者が集う街」にするためには新しいアイデアが必要だと思います。

今後10年間の方向性を決める君津市まちづくり構想

今年度は君津市が10年後に目指すべき将来都市像を描き、そのための目標・施策を定める「まちづくり構想」を策定する重要な年です。また、同時にまちづくり構想を実現するためのより短期間の計画である「まちづくり計画」も策定されます。

どういった手段でどんな街を目指すべきか、財政が悪化していく中で今こそ市民感覚での自治体運営が求められています。

「意見を言わないおとなしい市民」でいてはそのツケは子供たちの代に及びます。

いままで「おとなしい国民」でいたから年金保険料約2000億円を湯水のように投じたグリーピアという施設ができ、売却した際にはわずか50億円という大損失を産んだのではないのでしょうか。

今後、パブリックコメント(意見公募)等あります。「市長への手紙」という施策もあります。

ぜひ皆様から多くの意見を出していただけるようお願いいたします。

活動報告会をやります!

ぜひお気軽にご参加ください。



8月18日(土)

18:30~

八重原公民館 研修室

8月19日(日)

14:00~

生涯学習交流センター101室

それぞれの議員が問題点として感じていることについて講演会等をおこなえば、市民意識の向上につながり文化的なまちになります。私はこれからも積極的に講演会・上映会等を企画・実行していきます。



須永和良公式サイト

<http://sunaga-kazuyoshi.com/>

過去の活動報告も読めます。
動画も配信中!



話題のすなが和良ブログ

<http://sunaga33.blog137.fc2.com/>

ブログランキング39位!
(日本ブログ村 政治家全国市区町村)

すなが和良

検索

ご意見・ご感想

コメント

お名前

ご連絡先

※お手数ですがファックスでお送りください。

FAX.0439-73-0157

